

目標達成計画

作成日: 平成 25年 7月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	急速な高齢化に伴って認知症状が進行していく中でも、その人の人格やそれまでの生活を尊重するという「尊厳の保持」「傾聴ある態度」の姿勢をケアの基本とする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・安心と安全への支援 ・認知症介護の知識・技術を活用するための姿勢を学ぶ ・感受性を磨き、相手の立場で考える習慣をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護の質の向上が図れるように所内、所外の研修参加(講義や技術)に努める ・自己に気づき、立ち止まり、振り返ることが大切である 	12ヶ月
2	20	高齢化に伴い、なじみの人、なじみの場所等への参加も難しくなって来ています。運営推進委員会の場で交流を図り、地域の行事等には出来るだけ参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域の中で楽し暮らしていけるよう入居者本人や家族等も支える体制を取っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会の場からの行事参加には(文化祭・運動会・食事会)無理のないよう配慮し同行する。 ・デイサービス・近隣の施設等と連携を取りボランティア行事に参加する。 	12ヶ月
3	35	年2回の避難訓練が義務付けられています。。火災発生時は「119番通報」「初期消火」「避難誘導」が重要です。特に夜間想定の人夜勤の場合非常事態にパニックが発生し適切な行動を取ることができなくなることから繰り返しの訓練を体験する。	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間体制・連絡体制を設備する ・消火・通報及び避難訓練年2回実施する(消防に相談しながら、実効性のある計画) ・近隣の施設との協力体制の強化 ・近隣に住む職員との連携体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分達のホームは自分達で守る」の心構えで本番さながらの訓練に取り組みたい。 ・夜間想定は夜勤者個々で想像と実践、緊急対応マニュアルを手元に置き業務にあたることを周知徹底する(避難経路・設備の設置位置の確認) 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。